

【参加無料】開催のご案内

# 名古屋議定書を産業と生物多様性にどう活かすか ～ 遺伝資源の経済価値から考える研究開発推進と生物多様性保全～

「第Ⅲ期環境経済の政策研究」名古屋議定書シンポジウム

開催日時	2017年3月24日(金) 13:00～17:30 (開場 12:30)	共催	慶應義塾大学
会場	東京国際フォーラム ガラス棟6階 G602 (裏面参照)		滋賀大学
			三菱UFJリサーチ&コンサルティング 環境省

## シンポジウムの概要

遺伝資源アクセスと利益配分(ABS)の国際的な実施を定める「名古屋議定書」は、2017年1～2月に国内措置案「ABS指針案」のパブコメが実施されるなど、日本の締結準備が大詰めを迎えています。

このシンポジウムでは、遺伝資源の経済価値評価に関する最新の研究成果を紹介しながら、名古屋議定書時代における遺伝資源の研究開発と産業利用の推進に向けた課題と展望、さらに生物多様性保全との好循環をどのように形成できるのかについて、“名古屋議定書を活かす”観点から議論いたします。

## プログラム

司会:三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング(株) 藺 巳晴 副主任研究員

開始	内容	講演者
13:00	開会挨拶	環境省 自然環境局 生物多様性施策推進室 西山 理行 室長
13:15	<b>I. 研究報告: 遺伝資源の経済価値</b> 1. 遺伝資源の経済価値評価の意義と展開 2. 企業による遺伝資源利用の経済分析 3. 産業の遺伝資源利用の経済効果: 微生物利用のケース 4. 遺伝資源の生息域内保全に対する消費者の評価	慶應義塾大学 経済学部 大沼 あゆみ 教授 滋賀大学 環境総合研究センター 田中 勝也 教授 慶應義塾大学 経済学部 河井 啓希 教授 甲南大学 経済学部 柘植 隆宏 教授
14:25	<b>II. 名古屋議定書時代における遺伝資源の研究開発</b> 1. 遺伝資源を活用した医薬リード探索の実績と今後の展開 2. 産業界からみた遺伝資源アクセスの円滑化と名古屋議定書 3. 海外遺伝資源に関する産業利用推進及び能力構築と名古屋議定書	大鵬薬品工業(株) 天然物フロンティア研究所 永井 浩二 所長 (一財)バイオインダストリー協会 生物資源総合研究所 井上 歩 所長 (独)製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジーセンター 須藤 学 国際連携課長
15:40	<b>III. 遺伝資源の研究開発推進と生物多様性保全の好循環</b> 1. 名古屋議定書の実施と活用に向けた取組 2. 遺伝資源の経済価値からみた研究開発推進と生物多様性保全 3. “名古屋議定書”を産業と生物多様性に活かすために 4. 資源国におけるABS交渉現場の観点から	環境省 自然環境局 生物多様性施策推進室 中山 直樹 室長補佐 慶應義塾大学 経済学部 大沼 あゆみ 教授 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 藺 巳晴 副主任研究員 (株)ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ 二村 聡 代表取締役社長
16:45	<b>IV. パネルディスカッション</b> コーディネーター: 大沼あゆみ 教授 パネリスト: 田中勝也 教授、河井啓希 教授、柘植隆宏 教授、永井浩二 所長、井上歩 所長、須藤学 課長、中山直樹 室長補佐、藺巳晴 副主任研究員、二村聡 代表取締役社長	

お問い合わせ先

 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 政策研究事業本部 環境・エネルギー部  
 名古屋議定書シンポジウム事務局(藺・土方・森口) Tel:03-6733-1023 e-mail: biodiversity@murc.jp

## 会場

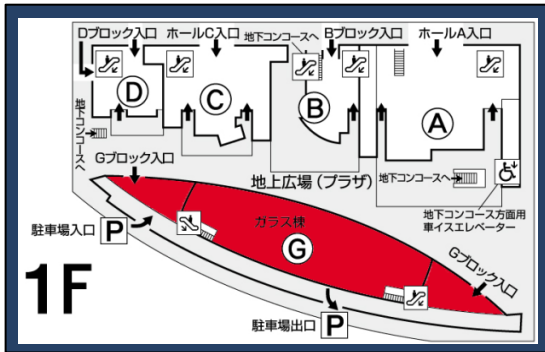
### 東京国際フォーラム ガラス棟6階 G602

東京都千代田区丸の内3-5-1

#### 【アクセス】

- JR: 有楽町駅より徒歩1分、東京駅より徒歩5分  
(京葉線東京駅とB1:F地下コンコースにて連絡)
- 地下鉄: 有楽町駅(B1Fコンコースにて連絡)、銀座駅より徒歩5-7分、日比谷駅より徒歩5-7分、三重橋前駅より徒歩5分、京橋駅より徒歩7分

#### 【東京国際フォーラム ガラス棟】



## お申込み方法

◆参加ご希望の方は、下記URLからお申し込みください。

【お申込みURL】

<http://www.murc.jp/sp/1703/biodiversity/form.html>

申込締切

3/23 木  
正午

※Web上でのお申込みが難しい方は、下記の「個人情報の取り扱いについて」の内容にご同意頂いたうえで、下記必要事項をご記入のうえ、FAXでシンポジウム事務局宛てにお送り下さい。

名古屋議定書シンポジウム事務局(担当: 藺・土方・森口) FAX: 03-6733-1028

〔\*必要事項: 1. 3/24名古屋議定書シンポジウムお申込みの旨、2. ご氏名、3. ご所属先、4. ご所属部署・役職、5. ご住所、6. 電話番号、7. FAX番号、8. メールアドレス、9. 事務局への連絡事項〕

### お申し込み・開催に際しての留意事項

- 会場の定員は70名程度です。お申込みの受付は先着順とさせていただきます。
- 申込者数が定員を超えた場合は、上記に関わらず申込みを締め切らせていただく場合がございます。
- やむを得ない事情により、予告なくプログラムに変更が生じる場合がございます。
- プログラムの時間は目安です。当日の進行によりずれる場合がございます。
- 当日、記録のため写真撮影(個人の顔写真は撮影いたしません)、録音等を行います。
- 参加者の皆さまによる撮影、録音等をご遠慮ください。

### 個人情報の取り扱いについて

1. お預かりした個人情報は、共催者である慶應義塾大学、滋賀大学、環境省への参加者名簿の提供、本催事の開催運営その他必要な事務手続等に利用します。
2. 当社は、十分な個人情報保護の水準を備えており、お預かりした個人情報は、当社個人情報保護方針及び個人情報の取り扱い(<http://www.murc.jp/corporate/privacy>)に従って取り扱われます。
3. 申込みフォームのシステムは、(株)パイブドビッツに委託しており、SSL暗号化通信により送信されます。
4. お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましてはシンポジウム事務局担当者までご連絡下さい。
5. 個人情報のご記入は任意ですが、ご記入内容が不十分な場合は、申し込みの受付ができない場合があります。

<名古屋議定書シンポジウム事務局>  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
環境・エネルギー部(担当: 藺・森口・土方)  
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2  
オランダヒルズ森タワー  
TEL 03-6733-1023/FAX 03-6733-1028



このシンポジウムは、環境省の「第三期環境経済の政策研究」による研究成果をもとに同事業の支出を得て、慶應義塾大学、滋賀大学、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、環境省が共同で開催するものです。